

9

日本の農業② —稲作

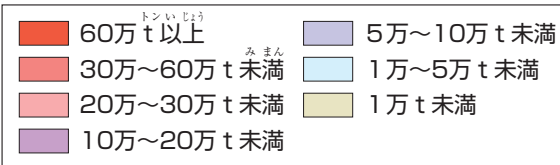
日本の農業は古くから稲作が中心です。全国各地でさまざまな種類の米がつくられています。

減少する作付面積

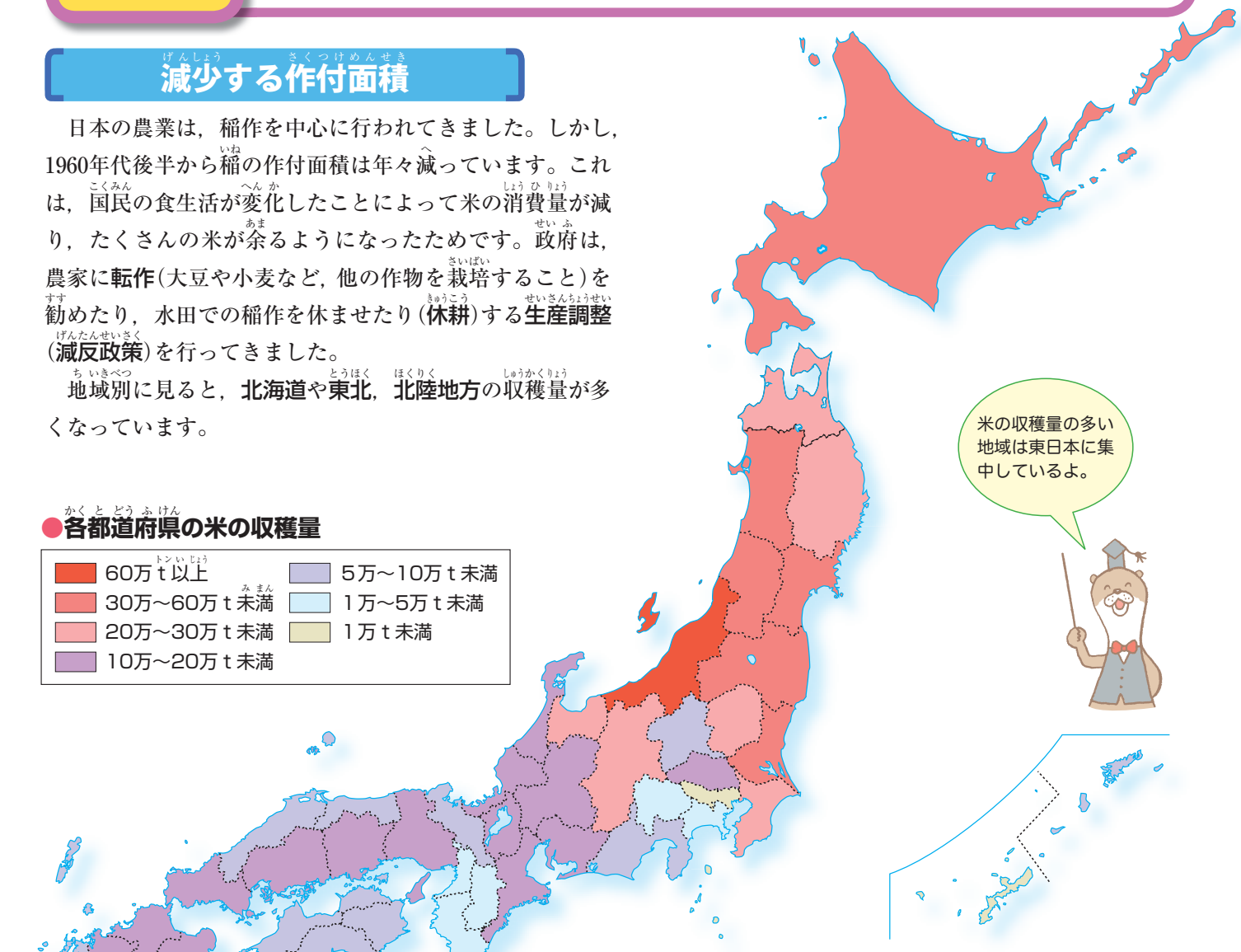
日本の農業は、稲作を中心に行われてきました。しかし、1960年代後半から稲の作付面積は年々減っています。これは、国民の食生活が変化したことによって米の消費量が減り、たくさんの米が余るようになったためです。政府は、農家に転作(大豆や小麦など、他の作物を栽培すること)を勧めたり、水田での稲作を休ませたり(休耕)する生産調整(減反政策)を行ってきました。

地域別に見ると、北海道や東北、北陸地方の収穫量が多くなっています。

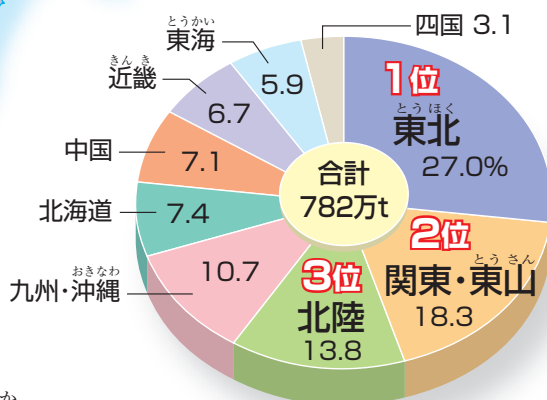
各都道府県の米の収穫量



米の収穫量の多い地域は東日本に集中しているよ。



データ 地域別収穫量



データ 米の収穫量 トップ10

順位	都道府県	収穫量 (t)	全国に占める割合 (%)
1	新潟	61万1700	7.8
2	北海道	58万1800	7.4
3	秋田	49万8800	6.4
4	山形	38万5700	4.9
5	茨城	35万8900	4.6
6	宮城	35万4700	4.5
7	福島	35万1400	4.5
8	千葉	29万9700	3.8
9	栃木	29万4200	3.8
10	岩手	26万5400	3.4

(2017年)「作物統計」ほか

※東山…山梨・長野県、北陸…新潟・富山・石川・福井県、東海…岐阜・静岡・愛知・三重県、近畿は三重県を除く

(2017年)「作物統計」ほか